

新岩手農業協同組合 東部営農経済センター（岩手県岩手町）

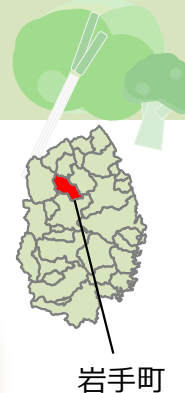


経営の概要

担当者名：米穀園芸課 課長 幅 一也

作付面積：キャベツ11ha、レタス3.5ha、ながいも0.3ha、
だいこん1ha、ねぎ、ブロッコリー

取引先：コンビニ、食品会社、学校給食



生産してみた

- 定期的に定量を定額で取引できるため農家手取りが見えやすい。
- 条件（商談）によっては生鮮向けの規格外も出荷可能になるメリットがある。
- キャベツは寒玉品種が歩留まりが良いが、**実需者からサラダ用の要望**があるため「春みどり」というブランドで出荷している。



実需者とのつながり

- 生産者が個別に契約していた業者から、品目を拡大したいという意向があり、生産者から**精算（決済）がJAとの取引で安心感があると了承を得られたことから、契約に至った。**
- 寒玉キャベツの出荷販売先は生産者が個別に決めており、JAは、そのリスク管理として、一部受け入れをしている。



今後について

- **加工・業務用としての大口出荷には可能性を感じている。**
- 全ての品目で、生鮮用、加工・業務用野菜の出荷をしているため、どちらにシフトすべきか迷っている。



新規取組する方へのアドバイス

出荷契約数量を必ず守らなければならないといった契約は、露地野菜の場合には非常にリスクが高いため、販売先の選定と、品目毎に契約条件を決めることが大事！